



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



令和7年9月3日号 文責 上久木田 雄二



新しくはじめること

令和8年9月より、本校は南部給食センター（香焼町に建設中）に取り込まれます。南部給食センターから運び込まれるコンテナの大きさの都合で、本校の配膳室を改修しました。

これまで配膳室の中に入って食缶等の受け渡しをしていた方法を改め、すべて廊下からの出し入れとします。

8月29日に完成したばかりですので、子どもたちの様子を見ながら、新配膳室運用マニュアルを整備していこうと思っています。



シャッターが4面あります。シャッターの中にある棚から、子どもたちは物品を受け取るようになります。返却は、棚に置くだけに変更となります。

市教委にお願いして、シャッター方式が採用され、配膳員も2名配置となります。

次の文書が近日中にテトルで配信されます。長崎県教育長からのメッセージです。保護者や地域の皆様宛です。

少し小さくなりますが、裏面に印刷をしていますのでご一読ください。

文部科学省からは、段階的に超過勤務を月30時間以内にするように求め

られています。

このため、2学期の早いうちに登校時刻を変更いたします。

およそ10分後ろにして、

7時40分から8時までの登校

にしています。詳しくは、別に発出した文書をご覧ください。通知他によって、登校時間を再度見直すことも考えられます。

登校時間を後ろ倒しすることで、家庭の対応が難しくなることも考えられますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」



教員が一人一人の子どもたちと向き合う時間を確保し、質の高い教育を実現するため、「学校における働き方改革」を進めています。

県教育長メッセージ

- 教員の大量採用世代の退職、長時間労働等によるイメージの悪化などにより、なり手が不足するなど教員を取り巻く環境は厳しい状況となっています。
- 長時間労働をはじめとする教員の環境を改善し、子どもたちと向き合う時間を確保し、教員が働きがいをもって働くことができる環境を整備することが、子どもたちの豊かな教育へとつながります。
- 本県の宝である子どもたちへのよりよい教育のため、学校における「働き方改革」に御理解・御協力をお願いいたします。

長崎県教育長 前川 謙介

本県教員の勤務状況

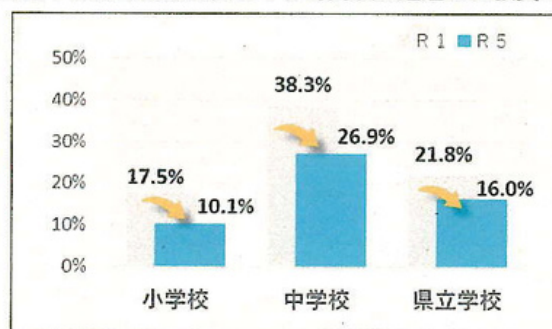
- 教員の勤務時間は、概ね

8:15～16:45

(学校や市町によって多少異なります)

- 1日の勤務時間は7時間45分です。
公立学校の教員には時間外手当は支払われません。
- 様々な取組により減少傾向にありますが、45時間以上の超過勤務をしている職員が一定割合います。
過労死ラインと言われる80時間を超える者もいます。

1月当たり正規の勤務時間を45時間以上超過した教員の割合



保護者や地域の方々へのお願い



教員へのお問合せ等

- 学校へのお問い合わせは、勤務時間内をお願いします。(緊急時は除く)
- 緊急時の連絡は、各学校や市町教育委員会が定める方法をお願いします。



学校活動への参画

- コミュニティ・スクールなどによる学校経営への参画や、登下校の見守り、環境整備作業、行事補助などによる学校活動への御協力をお願いします。



各学校での取組への御理解・御協力

- 行事の精選・見直し、授業時数の見直し、徴収金の口座振替化、電子メールによる連絡など各学校における取組への御理解と御協力をお願いします。



各種調査や応募依頼の見直し

- 学校へ依頼する作品募集や文書・調査は、学校を経由しない、WEBでの周知等によりお願いします。

長崎県PTA連合会及び長崎県公立高等学校PTA連合会からも「学校における働き方改革」に賛同いただいています。

長崎県教員の働き方や外部有識者「教職の魅力化作戦会議」からの提言については長崎県のホームページをご覧ください。



長崎県教育庁働きがい推進室

